

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 6 - 2
作成年月日 H24. 7. 25
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 花とみどりの景観整備促進事業

事業開始年度 平成21年度 住民参加 ☒ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☐ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 2. 総務費 項 1. 総務管理費 目 7. 企画費

担当課 企画財政課 担当係名 地域振興係 調書作成者職氏名 課長 広木真司

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 172

分類	コード	名称
基本目標	6	改革を進める“まちづくり”
施策項目	31	住民協働の推進
単位施策	4	協働によるまちづくりの実践

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 地域住民
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 公募により組織された「花とみどりの景観整備推進委員会」が中心となり、植栽の計画を立てながら花の種まきや草取りを行う。
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 「酪農の丘」等を中心とした地域への住民参加型による花々の植栽等の事業を進め、興部に相応しい緑の景観や豊かな自然と調和した景観の創出を図る。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区分	19年度 決算	20年度 決算	21年度 決算	22年度 決算	23年度 決算	24年度 予算	20～24年度 合計
事業費(千円)	0	0	470	440	218	800	1,928
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源			470	440	218	800	1,928

Ⅳ. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	行政と町民が協力し合いながら進める事業であることから、協働によるまちづくりの推進が図られる。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	ニトリ北海道応援基金も活用して実施していたが、補助金が削減されたため、今後一般財源の増加が考えられるが、花畑の維持管理についてはボランティアにより経費が抑えられている。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☐ (3) 類似事業との統合・再編の可能性ある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☒	町民の自立意識の高揚を図り、町民と行政が互いに支えあうという形を推進するため、継続的な活動が必要であるが、当初の計画をほぼ達成したため、推進委員会としての活動は平成24年度をもって終了とする。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	行政と住民協働による取り組みであるが、住民の参加が少なく固定化されており、担い手の確保が必要になっている。 平成25年度以降については、維持管理が主体となるため行政が主体となり進める。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	ボランティアのメンバーが固定化され、尚且つメンバーが減少してきている。土壌改良により、当初から見ると土も良くなってきており、水仙を中心に植栽面積が増えてきている。 年々花を見に来る人が増えてきており、一定の成果は上がってきている。 平成24年度において、植栽計画が完了予定。

特記事項
少ないボランティア人数ではあるが、地道な活動により花畑が充実してきている。

Ⅴ. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	委員会として推進してきた植栽計画が平成24年度で完了する予定。当初の目的（景観創出）を達成することができた為、委員会を平成24年度をもって解散する。今後は町が主体となり維持管理を行う
二 次 評 価		二次評価対象外

Ⅵ. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

Ⅶ. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

- ★ 評 価
- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの

(2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの

(3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの

(4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

(5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了

(6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止

(7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの